成果指標・アクションプランの達成・進捗状況

参考資料

1　成果指標の達成状況

(1)達成状況の割合

施策展開の方向性		成果指標数	達成状況		
			◎	○	×
1	学習活動のきっかけの提供	4	—	—	4 (100%)
2	多様な学習機会の確保	3	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
3	学びを生かしたコミュニティづくり	3	1 (33.3%)	—	2 (66.6%)
合計		１０	2 (20%)	1 (10%)	7 (70%)

※(　)内の数値は「施策展開の方向性」ごとの達成状況の割合を示しています。なお、小数第二位で四捨五入しているため、合計が100%とならないことがあります。

(2)達成状況が「◎・×」の成果指標

【施策１－１】　　資料1P4-5

No.	指標	当初	目標		実績			
		H27末	H30末 (中間目標)	R3末 (最終目標)	H28末	H29末	H30末	達成状況
1	生涯学習に関心のある市民の割合	76.9% (H26)	83.0%	90.0%	80.5%	75.9%	76.3%	×
		WEBアンケート						
		達成状況に対する説明			今後の取組み等			
		各種媒体による学ぶ場と学ぶための情報提供や、生涯学習イベントを継続して実施しました。その結果、生涯学習に関心のある市民の割合は、前年度末と比較し、0.4ポイント上昇しましたが、中間目標は達成できませんでした。			市民ニーズに応えた各種事業を実施するとともに、SNSを活用した情報の発信や、情報誌やチラシなどの発行回数を増加することで、学習のきっかけづくりにつなげ、生涯学習に関心のある市民の割合が増えるよう努めます。			
2	生涯学習に関する情報が充実していると感じる市民の割合	56.4% (H26)	25.0%	34.0%	19.3%	22.0%	24.5%	×
		WEBアンケート						
		達成状況に対する説明			今後の取組み等			
		SNSでの発信や冊子・チラシなどの発行により、生涯学習の情報を提供していますが、中間目標は達成できませんでした。			SNSを活用した情報発信の拡充、情報誌やチラシなどの発行回数の増加、公民館の掲示板の活用など、各年齢層の利用者に届くよう、様々な手法を活用した情報発信を充実します。			

【施策１－２】　　資料1P8-9

No.	指標	当初	目標		実績			
		H27末	H30末 (中間目標)	R3末 (最終目標)	H28末	H29末	H30末	達成状況
3	市の生涯学習施設が5年前よりも利用しやすくなったと考える市民の割合	31.5% (H26)	54.0%	58.0%	—	—	53.3%	×
		生涯学習関係団体アンケート調査						
		達成状況に対する説明			今後の取組み等			
		平成30年度は公民館の修繕や古くなった備品を交換するなど、集中的に学習環境を整備しましたが、中間目標を達成できませんでした。			公民館の修繕や古くなった備品の交換を計画的に実施するとともに、施設のわかりやすい案内表示や、職員に声のかけやすい環境づくりに努めます。			
4	生涯学習施設を年1回以上利用したことのある市民の割合	44.1%	74.0%	80.0%	—	73.1%	68.0%	×
		WEBアンケート						
		達成状況に対する説明			今後の取組み等			
		情報発信に取り組んでいるものの、平成30年度末実績値は前年度実績値から5.1ポイント下降しています。			市民ニーズに応えた各種事業を実施するとともに、SNSを活用した情報の発信や、講座の情報誌やチラシなどの発行回数を増加することで、学習のきっかけづくり、生涯学習施設の利用につながるよう努めます。			

【施策2－1】 資料1P14

No.	指標	当初	目標		実績			
		H27末	H30末（中間目標）	R3末（最終目標）	H28末	H29末	H30末	達成状況
5	郷土の歴史や文化財に愛着を感じる市民の割合	38.3%（H26）	56.0%	59.0%	—	55.7%	61.3%	◎
		WEBアンケート						
		達成状況に対する説明			今後の取組み等			
		特別史跡加曽利貝塚や千葉市の礎を築いた千葉氏などを筆頭に、PRイベントや普及活動を積極的に行った結果、郷土の歴史や文化財に対する市民の興味・関心が高まったと考えられます。			より多くの方に満足いただける学習機会を提供できるよう、引き続き、関連するアクションプランの充実を図ります。			

【施策2－2】 資料1P17-18

No.	指標	当初	目標		実績			
		H27末	H30末（中間目標）	R3末（最終目標）	H28末	H29末	H30末	達成状況
6	公民館の講座の参加者の満足度	98.2%	99.0%	99.5%	98.5%	98.7%	98.4%	×
		受講者アンケート調査						
		達成状況に対する説明			今後の取組み等			
		公民館では、地域における課題や利用者のニーズを把握し、主催事業を実施しています。平成30年度は中間目標を達成できませんでしたが、前年度より185回増の972講座を実施し、98.4%と非常に高い満足度となりました。			受講者アンケートにより地域課題や利用者のニーズを的確に把握したうえで、実施時期等の検討をするとともに、講座内容や実施回数を充実し、さらなる満足度の向上を目指します。			

【施策3－1】 資料1P24

No.	指標	当初	目標		実績			
		H27末	H30末（中間目標）	R3末（最終目標）	H28末	H29末	H30末	達成状況
8	市民のボランティア活動・地域活動への参加状況	16.4%（H26）	23.0%	30.0%	21.9%	13.5%	16.7%	×
		WEBアンケート						
		達成状況に対する説明			今後の取組み等			
		生涯学習センターや公民館でボランティアやリーダーの育成講座を実施しており、前年度に比べ、市民のボランティア活動・地域活動への参加状況は3.2ポイント上昇しましたが、中間目標を達成することはできませんでした。			市民ニーズを踏まえボランティアやリーダー育成講座の充実を図るとともに、ボランティア等の活動についての幅広い周知や、活動場所の発掘など、学習成果を地域に還元するしくみづくりに取り組みます。			

【施策3－2】 資料1P27

No.	指標	当初	目標		実績			
		H27末	H30末（中間目標）	R3末（最終目標）	H28末	H29末	H30末	達成状況
9	年2回以上学習成果を地域に還元する団体の割合	43.7%（H26）	68.0%	71.0%	—	—	67.6%	×
		生涯学習関係団体アンケート調査						
		達成状況に対する説明			今後の取組み等			
		生涯学習施設において学習した成果を還元する団体は増えてきているものの、中間目標に達しませんでした。			学習成果を発表するだけでなく、主催事業の講師などの機会を創り出すとともに、地域に還元することの必要性を積極的にアピールすることで、取り組む団体を増やすよう努めます。			

【施策3－3】 資料1P31

No.	指標	当初	目標		実績			
		H27末	H30末（中間目標）	R3末（最終目標）	H28末	H29末	H30末	達成状況
10	住民同士で地域課題の解決に取り組んでいると考える市民の割合	24.3%（H26）	27.0%	30.0%	—	28.9%	31.8%	◎
		WEBアンケート						
		達成状況に対する説明			今後の取組み等			
		公民館運営審議会や運営懇談会などで議論された地域課題を講座に反映させるなどの工夫を重ねた結果、目標達成につながりました。			公民館運営審議会や運営懇談会の議論の活性化をはじめ、地域の団体等と連携して主催事業を実施するなど、地域課題の解決に取り組んでいけるよう支援を続けます。			

2 アクションプランの進捗状況

(1)進捗状況の割合

施策展開の方向性		事業数	進捗状況				
			達成	順調	遅れ	休止	中止
1	学習活動のきっかけの提供	18	4 (22.2%)	10 (55.6%)	3 (16.7%)	1 (5.5%)	—
2	多様な学習機会の確保	21	6 (28.6%)	8 (38.1%)	6 (28.6%)	1 (4.8%)	—
3	学びを生かしたコミュニティづくり	17	1 (5.9%)	12 (70.6%)	4 (23.5%)	—	—
合計		56	11 (19.6%)	30 (53.6%)	13 (23.2%)	2 (3.6%)	—

※( )内の数値は「施策展開の方向性」ごとの達成状況の割合を示しています。なお、小数第二位で四捨五入しているため、合計が100%とならないことがあります。

(2)進捗状況が「達成・遅れ」のアクションプラン

【施策1－2】 資料1P10-13

No.	事業名	当初	目標		実績			
		H27末	H30末 (中間目標)	R3末 (最終目標)	H28末	H29末	H30末	達成状況
1	生涯学習施設等の利用環境の充実	51.5% (H26)	54.0%	55.0%	58.2%	62.8%	64.7%	達成
		45.2% (H26)	48.0%	51.0%	46.8%	46.8%	45.8%	遅れ
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		生涯学習センターでは、施設稼働率が平成30年度末で64.7%と、平成29年度末に比べて1.9ポイント上昇しました。 平成30年度の公民館の稼働率は45.8%で、前年度の稼働率に比べ1ポイント減少しました。施設の修繕や備品の更新など積極的に学習環境の整備を行いましたが、主な原因として、施設の老朽化や利用者の高齢化による利用団体の減少が考えられます。			施設稼働率を向上させるため、公民館の修繕や古くなった備品の交換を計画的に実施するとともに、施設のわかりやすい案内表示や、職員に声のかけやすい環境づくりに努め、利用環境の充実を図るとともに、利用団体の支援や広報に取り組みます。			
2	図書館サービスの向上	—	1館	1館	—	—	—	遅れ
		—	3館	3館	—	—	—	遅れ
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		平成29年3月に開館した「みずほハスの花図書館」において、他図書館が休館日である月曜日の開館を実現しました。			みずほハスの花図書館の成果等を踏まえ、現在策定中の新たな図書館計画の中で、開館時間の延長や祝日開館の必要性、それを実現するための方策について検討します。			
4	公民館の改築	基本設計	H30年4月供用開始	供用	建設中(H29年10月供用開始予定)	H29年10月供用開始	H29年10月供用開始(H29の実績再掲)	達成
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		利用者・関係者からの要望を受け、当初の予定を6か月前倒しし、平成29年10月に供用開始しました。						
6	中央図書館・生涯学習センター等の改修	中央監視装置更新 (H26)	アトリウムガーデン屋根防水	工事完了済	実施設計	H30年3月工事完了	H30年3月工事完了(H29の実績再掲)	達成
			吊天井落下防止対策	工事完了済	実施設計	H30年3月工事完了	H30年3月工事完了(H29の実績再掲)	達成
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		中央図書館・生涯学習センターのアトリウムガーデン屋根防水、吊天井落下防止対策は平成30年3月に完了しました。			施設利用者への影響を考慮しながら、実施時期等効率的な施設改修を検討します。			

【施策２－１】 資料1P15-16

No.	事業名	当初	目標		実績			
		H27末	H30末（中間目標）	R3末（最終目標）	H28末	H29末	H30末	達成状況
1	加曽利貝塚の国特別史跡指定	**総括報告書の作成**	**総括報告書の刊行**	**総括報告書の刊行**	**総括報告書の刊行**	**総括報告書の刊行（H28の実績再掲）**	**総括報告書の刊行（H28の実績再掲）**	達成
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		平成29年10月13日付けで国の特別史跡に指定されました。平成30年度の加曽利貝塚博物館の来訪者は77,222人となり、36年ぶりに過去最多を更新しました。			加曽利貝塚の発掘調査や史跡整備を進めるとともに、新たな縄文体験の提供など来場者のニーズを踏まえた事業を積極的に実施します。			
2	文化財の保存･活用の推進	―	**外壁等腐食箇所修繕、電気設備工事**	**外壁等腐食箇所修繕、電気設備工事完了**	―	―	―	遅れ
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		瓦葺屋根・外壁・戸袋等の小破修繕を実施しました。			ゆかりの家・いなげは、令和元年度に電気設備工事の実施を予定しています。また、外壁等の老朽化については、地域有形文化財としての価値を損なうことが無いよう、劣化状況を注視しつつ、適切な修繕に努めます。			
3	郷土の理解を深める講座・事業の充実	**11事業**	**13事業**	**13事業**	**11事業**	**15事業**	**34事業**	達成
		24事業	**26事業**	**26事業**	**26事業**	**25事業**	**28事業**	達成
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		加曽利貝塚博物館では、新たに講座「土偶づくり教室」「自然観察ワークショップ」「夏休み縄文時代教室」やイベント「Winter Museum」「縄文くらし体験＆縄文ひろば」を開催するとともに、今後複数年度にわたり加曽利E式土器の変遷を辿る企画展をスタートさせるなど、事業の拡充を図りました。 郷土博物館では、本市の礎を築いた千葉氏に関する講座を千葉大学と共催で実施するとともに、千葉常胤生誕900年の節目の年に合わせた企画展を開催しました。また、千葉氏が活躍した中世への興味喚起を図るべく「鎌倉騎馬武者体験」を3回実施しました。			加曽利貝塚博物館では、動物公園や科学館、学校等と連携し、新たな視点により事業を展開します。また、参加者アンケートでは、各種講座やイベント等の開催を来館して初めて知ったという回答が多かったため、平成30年度にリニューアルしたホームページ及び開設したTwitterアカウント等による情報発信に努めます。 郷土博物館では、今後、魅力ある事業を展開していくため、その基礎となる研究体制を充実させていく必要があるほか、ホームページをリニューアルし、郷土史についての情報を積極的に発信します。			

【施策２－２】 資料1P19-23

No.	事業名	当初	目標		実績			
		H27末	H30末（中間目標）	R3末（最終目標）	H28末	H29末	H30末	達成状況
4	「（仮称）瑞穂情報図書センター」の整備	**検討**	**H29年3月供用開始**	**供用**	**H29年3月28日供用開始**	**供用**	**供用**	達成
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		「（仮称）瑞穂情報図書センター（現：みずほハスの花図書館）」は、寛ぎながら読書を楽しめるスペースの設置に加え、自動貸出機、タブレット端末及びデジタルサイネージ等のICT機器を活用したサービスの導入など、新たな取組を行う図書館として、花見川区役所1階に整備を進め、平成29年3月に供用を開始しました。						

【施策２－２】　資料1P19-23

No.	事業名	当初	目標		実績			
		H27末	H30末（中間目標）	R3末（最終目標）	H28末	H29末	H30末	達成状況
6	未来の科学者育成プログラムの充実	実施	拡充	拡充（100人）	拡充	実施（受講者数減）	71人	遅れ
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		動物公園での新規講座を立ち上げ、受講者数は前年度より29人増の71人となりました。講座後のアンケートでも98.7%の受講者が「楽しかった」と回答しており、参加した受講者からは高い評価を受けています。			ジュニア講座では、年度当初から全ての講座で市内公立小学校5、6年生全員に個別にチラシを配付するとともに、電子申請による申込を受け付けます。また、科学館での新規講座を立ち上げるなど、内容の充実に取り組みます。			
8	放課後子ども教室の推進	21.2日/校（H26）	従来型 19.3日/校 活動支援型 25.0日/校	従来型 22.0日/校 活動支援型 28.0日/校	19.8日/校	19.8日/校	従来型 17.9日/校 活動支援型 25.9日/校	遅れ
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		従来型の実施日数が伸び悩む理由は、協力員等の担い手が不足する中、安全管理やプログラム開発等の地域への負担が大きいためです。活動支援型は対象校を17校に拡充して実施するとともに、7校を重点支援校として支援体制を強化しました。			総合コーディネーターによる活動支援を継続します。さらに、支援校は希望制により決定することで、真に支援を要する学校に支援を行い、実施日数の増加を図ります。			
9	子ども読書活動の推進	45.2%（H26）	49.0%	52.5%	46.0%	48.1%	44.0%	遅れ
		46.9%（H26）	49.0%	52.5%	44.4%	44.5%	43.0%	遅れ
		1.1%（H26）	0.9%	0.8%	0.6%	0.4%	0.3%	達成
		7.9%（H26）	6.4%	5.5%	2.8%	1.6%	1.3%	達成
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		読書習慣のある児童生徒の割合は、学年が上がるにつれて減少しています。また、昨年度と比較するとどの学年でも低下しています。学年別平均読書量でも同様の傾向が見られますが、これは、情報機器の利用増加が要因の一つであると考えられます。 図書館では、「ファミリーブックタイム事例集」や「まほうの読書ノート」の配布、子ども読書まつりの実施など、子どもが自由に読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるような環境整備や適切な支援を行いました。また、・学校へ出向いてのお話会やブックトーク、見学時の本の紹介など、子どもに直接本を紹介する事業を、学校と連携して行いました。さらに、中学生に関しては、職場体験の受入れや団体貸出、図書館指導員の研修会への出席など、中学生の読書習慣の形成に努めました。			・「まほうの読書ノート」から「どくしょてちょう」へデザインの仕様を変更するなど、子どもの読書活動の推進を図ります。また、職場体験の受入や団体貸出、図書館指導員の研修会への出席など、学校との連携をさらに強め、引き続き中学生の読書習慣の形成に努めます。			
11	家庭教育支援事業の実施	21館（H26）	28館	28館	22館	22館	22館	遅れ
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		家庭教育の支援や子育ての不安や悩みを解消するため、「子育てママのおしゃべりタイム」を公民館で実施しましたが、実施館数は中間目標に達しませんでした。			引き続き、人材確保等実施体制の強化を図りながら、地域の子育て世代のニーズに応じ、実施回数の増加に努めます。			

【施策３－１】　資料1P25-26

No.	事業名	当初	目標		実績			
		H27末	H30末（中間目標）	R3末（最終目標）	H28末	H29末	H30末	達成状況
1	団体・グループ活動のリーダーの養成・育成	333人（H26）	370人	400人	389人	364人	347人	遅れ
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		生涯学習センターや公民館において、リーダー養成研修を実施しましたが、受講対象者が限定されるため、広報の効果が上がらず、中間目標に達しませんでした。			公民館のクラブ連絡協議会等と連携して、アンケートを踏まえたニーズに応えられるようリーダー養成講座の充実を図るとともに、参加しやすい日程調整やわかりやすい広報に努めます。			
2	ボランティアの育成	1,634人（H26）	1,850人	2,000人	1,635人	1,697人	1,743人	遅れ
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		ちば生涯学習ボランティアセンターの登録者数は、着実に増加していますが、高齢化や団体の活動停止等による減少もあり、中間目標に達しませんでした。			生涯学習センターでは引き続き、合同説明会の開催等を通して、他の施設・団体が所管するボランティア等との連携・協働を図るとともに、ボランティアセンターの広報活動の充実に努めます。			
3	家庭教育支援事業の実施（一部再掲）	2チーム（H26）	4チーム	4チーム	2チーム	2チーム	2チーム	遅れ
		33人（H26）	42人	42人	36人	39人	35人	遅れ
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		子育ての悩みなどを相談できる場所として認知されてきているものの、家庭教育に取り組む人材が不足しており、チーム数、サポーター数ともに伸び悩んでいます。			人材の確保については、引き続き、公民館や学校の協力を得て、子育てサポーターや青少年育成委員等の既存の家庭教育関連団体に適切な人材の紹介を呼びかけるとともに、チームが開催するイベント等についてもより一層の広報PRに努め、参加者を含めより幅広く参画を働きかけます。			

【施策３－３】　資料1P32-33

No.	事業名	当初	目標		実績			
		H27末	H30末（中間目標）	R3末（最終目標）	H28末	H29末	H30末	達成状況
1	多様な主体による学習活動の推進	103事業（H26）	115事業	120事業	114事業	109事業	131事業	達成
		主な成果と考察			今後の取組み等			
		生涯学習センター、公民館では、NPO法人や大学、民間事業者、地域団体と連携し、市民向け事業を実施することで、多彩な事業展開を図りました。			NPO法人をはじめ、大学、民間企業、地域団体、生涯学習施設で活動している団体等と連携し、地域課題の把握に努め、学習内容と機会の充実に努めます。			